



■都市計画道路

シカヤ飯塚牟田線

本町の都市計画道路でありますシカヤ飯塚牟田線の一部区間について道路計画の変更手続を行い、完了しました。この区間は、桂川町役場前交差点から国道200号線の豆田歩道橋交差点までの約1,220mについて、全幅員を16mから14mに変更するとともに、国道200号線側から約500m区間については道路法線の変更を行いました。このことにつきましては、地元説明会等を行うとともに都市計画審議会の同意を得て、本年2月13日付けで県知事の同意を得たところです。

本町としましては、現在、県事業で取り組んでいただいております県道豆田稲築線・土師工区に引き続いて、この区間も県事業として実施していただくよう強く要望しているところです。



シカヤ飯塚牟田線の一部

■町営住宅二反田団地A棟

町営住宅二反田団地A棟への引越

しについては、順調に進んでいます。来年度以降は、財政状況に配慮しながら、B棟建設に向けて準備を進めていく計画でございます。



▲H30年11月に完成した二反田団地A棟。



▲二反田団地A棟建替えに伴い新築された二反田団地集会所。

■(株)トライアル・カンパニー

開発事業

株式会社トライアル・カンパニーから開発事業の事前協議書が平成31年1月29日付けで提出され、現在、手続きを進めているところです。

■国民健康保険事業

国民健康保険事業では、医療費を分析した結果、飯塚医療圏の国保加入者は、糖尿病などの生活習慣病の割合が県平均より高いという課題が明らかになっていきます。

このような健康課題を飯塚医療圏全体で解決するため、飯塚医師会と連携し、平成31年度からの新規取り組みとして特定健診の二次健診において、糖尿病性腎症の発症・重症化を予防するための尿検査(微量アルブミン尿検査)を導入することになりました。

糖尿病性腎症は悪化すると人工透析が必要になりますが、早期の発見、治療により回避できることから、一定の基準に該当した方全員を対象に実施し、費用の全額を町が負担します。

■環境施設等広域化

次に、環境施設等の広域化に関する取り組みにつきましては、平成29年4月から、財政負担の軽減や環境負荷の低減を図ることを目的に、環境施設等の広域化に関する任意協議会を設置し、「飯塚市・桂川町衛生施設組合とふくおか県環境施設組合の統合に関すること」「飯塚市及び嘉麻市の直営環境施設等を統合後の一部事務組合への移管に関すること」について協議を進めてきました。

必要な協議が全て整い、本年2月13日付けで新たな一部事務組合を設立することについて福岡県の許可承認を受けました。これに伴い4月1日からは「ふくおか県環境広域施設組合」として、2市2組合がそれぞれ管理している施設の一元管理を行い、今後進行すると思われる人口減少への対応及び資源循環・環境共生型社会の実現に向けて、スケールメリットを活かした効率的な施設運営を図ってまいります。

なお、今回の新たな一部事務組合設立に伴うゴミの出し方やし尿処理の料金などの変更はありません。